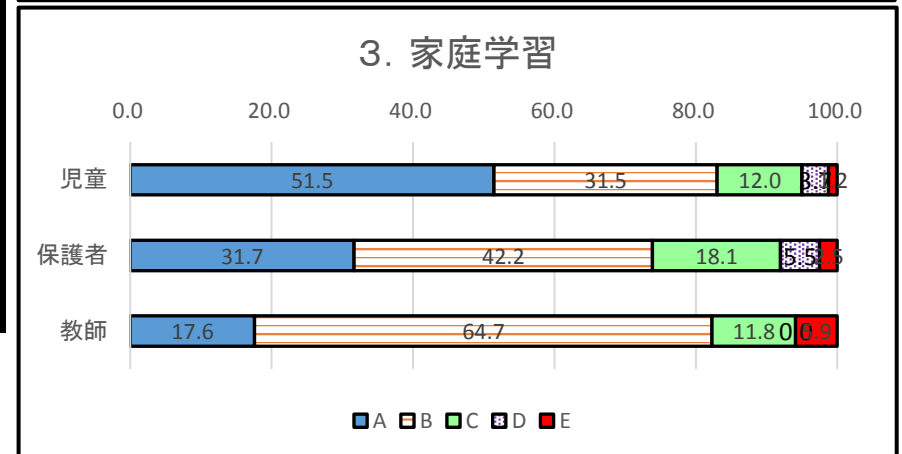
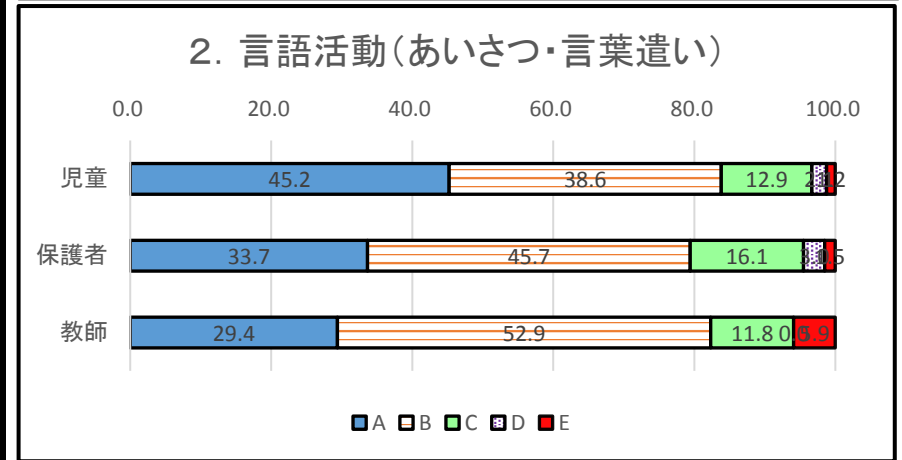
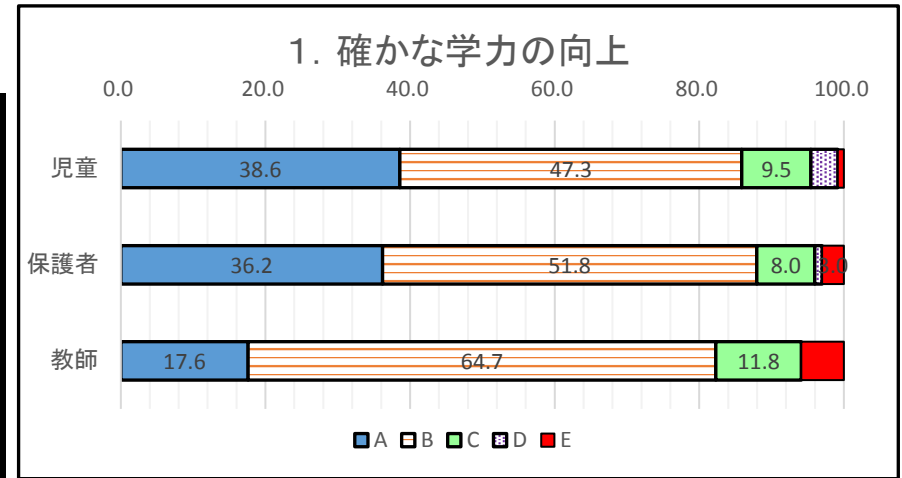


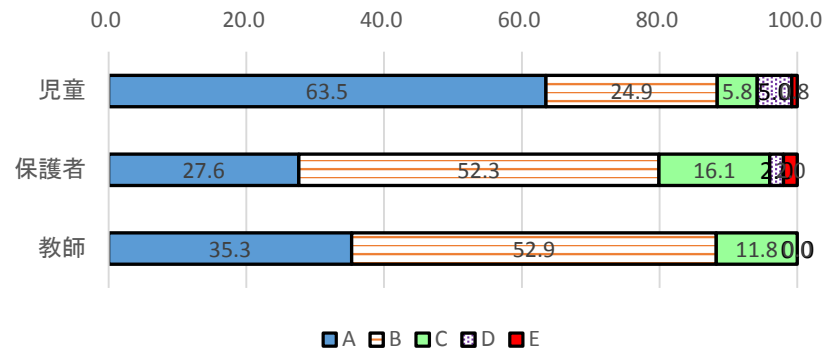
平成29年度児童・保護者・教師の三者比較

A達成 Bおおむね達成 Cやや不十分 D不十分 E判断できない (%)

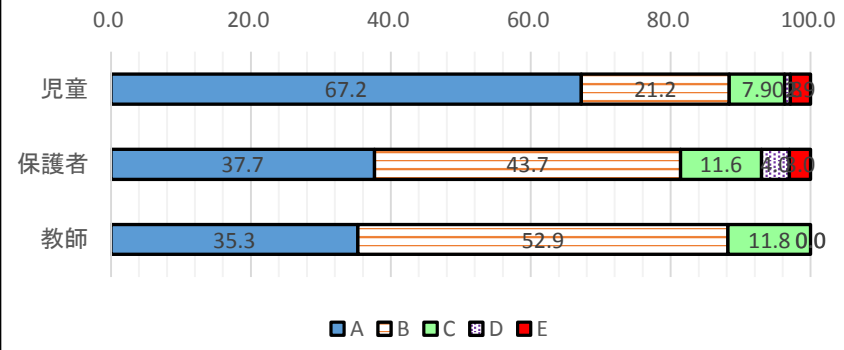
		A	B	C	D	E	未記入	
1	児童	38.6	47.3	9.5	3.7	0.8	0	100
1	保護者	36.2	51.8	8.0	1.0	3.0	0	100
1	教師	17.6	64.7	11.8	0.0	5.9	0	100
		A	B	C	D	E	未記入	
2	児童	45.2	38.6	12.9	2.1	1.2	0	100
2	保護者	33.7	45.7	16.1	3.0	1.5	0	100
2	教師	29.4	52.9	11.8	0.0	5.9	0	100
		A	B	C	D	E	未記入	
3	児童	51.5	31.5	12.0	3.7	1.2	0	100
3	保護者	31.7	42.2	18.1	5.5	2.5	0	100
3	教師	17.6	64.7	11.8	0.0	5.9	0	100
		A	B	C	D	E	未記入	
4	児童	63.5	24.9	5.8	5.0	0.8	0	100
4	保護者	27.6	52.3	16.1	2.0	2.0	0	100
4	教師	35.3	52.9	11.8	0.0	0.0	0	100
		A	B	C	D	E	未記入	
5	児童	67.2	21.2	7.9	0.8	2.9	0	100
5	保護者	37.7	43.7	11.6	4.0	3.0	0	100
5	教師	35.3	52.9	11.8	0.0	0.0	0	100
		A	B	C	D	E	未記入	
6	児童	59.8	26.1	7.1	1.7	5.4	0	100
6	保護者	28.9	44.2	11.7	4.6	10.7	0	100
6	教師	35.3	64.7	0.0	0.0	0.0	0	100



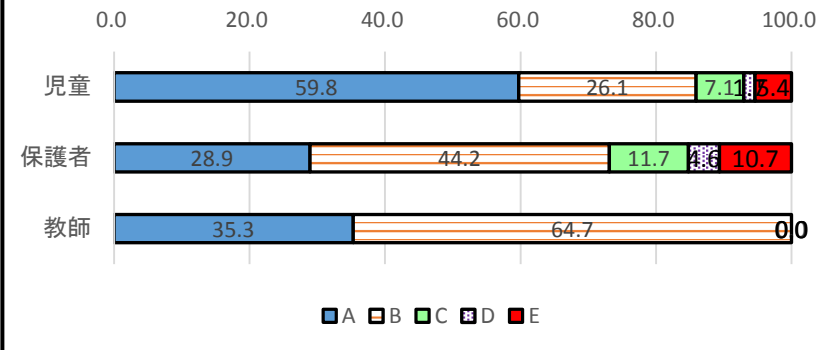
4. 健康安全(体力向上)



5. 学校生活



6. 信頼関係(同一歩調)



全てのアンケートでA+B(肯定的な意見)の割合が80%以上なら、だいたい満足といく結果とすることができる。

◎児童アンケート

項目4と5で88.4%が肯定的な意見となり、多くの子ども達が元気よく遊んだり運動していて、自信持ってみんなと楽しく仲良く過ごしていると言える。最も否定的な意見が多いのが、項目2で15.7%の人が「できていない。ややできていない。」と答えている。特に高学年と低学年で、17%くらいの人が「できていない」と答えている。高学年は、恥ずかしさから元気にあいさつができなかったり、敬語の学習をしたが、目上の人に使用していないという理由が考えられる。また、項目3でAと答えた割合が51.5%にとどまった。ただ、Bまで含めると80%を超えているので、次年度はA+Bで80%以上とするという数値目標を立てる。

◎保護者アンケート

項目6で73.1%しか肯定せず、10.7%の人が判断できないと答えた。特に高学年の保護者は、69.7%しか肯定しなかったが、これは学校としての発信説明不足が原因だと考えられる。また、項目3では73.9%しか肯定しなかった。特に中学年の保護者は7割弱の肯定的な意見にとどまった。子どもが学習に取り組んでいる時間に保護者がいない時間帯や食事の支度中に子どもが家庭学習に取り組み、保護者の見ている前でやっていないと思っているからだと考える。

◎三者の比較から

今年度の傾向として、児童と教師の結果が項目6を除いてほぼ同じ結果だった。ただ、肯定的な意見でも、児童は「自信持って達成できた(Aと答えた)」割合が多いのに対し、教師は「やや達成できた(Bと答えた)」割合が多かった。項目6と項目3で、保護者の肯定的な意見の割合が低い。学校として「チーム清水」として、全校一丸となって取り組んでいることの情報提供不足だった。また、家庭学習についてのやり方や目標時間等の情報発信が見られた。家庭学習や宿題等の内容を知らせ、保護者も巻き込んだ家庭学習に取り組む必要がある。